作成日 2013 年 1 月 30 日(第 1 版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名　コラトップ® ジャンボP　(ピロキロン粉粒剤)
会社名　シンジェンタジャパン株式会社
住所　〒104－6021
東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 10 号オフィスタワーX 21 階
担当部門　HSEグループ
電話番号　03－6221－1047
FAX番号　03－6221－1050
緊急連絡先　同上

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性:	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分 4
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性／刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分 2
	特定標的臓器毒性(単回曝露)	区分 2 (肺)
	特定標的臓器毒性(反復曝露)	区分 1 (肺)
環境に対する有害性:	水生環境急性有害性	区分 1

＊ 記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」

ラベル要素

絵表示又はシンボル:

注意喚起語: 危険

危険有害性情報:
飲み込むと有害
強い眼刺激
遺伝性疾患のおそれの疑い
肺の障害のおそれ
長期にわたる、または反復暴露による肺の障害
水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手する。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。

粉じん、ヒュームを吸入しない。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしない。

取扱い後、手や顔をよく洗う。

保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣、保護面を着用する。

指定された個人用保護用具を使用する。

必要な時以外は環境への放出を避ける。

【救急処置】

飲み込んだ場合、口をすすぐ。気分が悪い時は医師に連絡する。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診断あるいは手当てを受ける。

暴露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡する。

暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断あるいは手当てを受ける。

漏出物を回収する。

【保管】

施錠して保管する。

【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託する。

使用済みの容器は他の用途に使用しない。

国／地域情報　－

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　混合物

化学名 【一般名】　1,2,5,6-テトラヒドロピロロ[3,2,1-ij]キノリン-4-オン 【一般名:ピロキロン】

成分	含有量(%)	化学式	官報公示整理番号	CAS番号
ピロキロン	24.0	$C_{11}H_{11}NO$	8-(1)-1760	57369-32-1
鉱物質微粉等	76.0	－	－	－

4. 応急措置

吸入した場合:　被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合:　汚染された衣類を脱ぎ、付着又は接触部を石鹸で洗浄し多量の水を用いて洗い流す。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断・手当てを受ける。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯する。

眼に入った場合：	水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診断あるいは手当てを受ける。
飲み込んだ場合：	無理に吐かせないで直ちに医師の手当てを受けさせる。可能であれば容器、ラベル又はこのデータシートを医師に示す。
医療関係者への情報：	特定の解毒剤はない。対症療法を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	噴霧放水、泡、粉末、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特定の消火方法	火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 危険なくできる時は燃焼の供給源を速やかに止める。 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。 周囲の設備などに散水して冷却する。 消火活動は可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、状況に応じた保護具を必ず着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。
除去方法	飛散を防ぐため少量の水で湿らせたのち掃き集めるか、専用の電気掃除機などで漏出物を吸引し、密封できる廃棄物用容器に回収する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除く。 危険なくできるときは、漏出源を遮断し、漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	・適切な保護具を着用し、眼や皮膚への接触や粉じんの吸入を避ける。 ・換気のよい場所で取り扱う。 ・取扱い時には飲食、喫煙をしない。 ・製品の飛散、漏出等がないようにする。 ・濡れた手で触らない。 ・ラベルをよく読んでから、保管・使用する。
保管	・換気のよい冷暗所で、密封出来る容器に入れて保管する。 ・小児の手の届かない所に保管する。 ・食品や飼料と区別して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	・取扱い場所には、全体換気装置を設置する。 ・高温で使用の場合は、密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。 ・取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。	
管理濃度	未設定	
許容濃度	未設定	
保護具	呼吸器用の保護具	農薬用マスク
	手の保護具	保護手袋
	眼の保護具	ゴーグル、保護眼鏡、保護面
	皮膚及び身体の保護具	保護帽子、保護衣、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

形状	固体(細粒、水溶性パック入り)	
色	褐色	
臭い	知見なし	
pH	7.5 (20%水懸濁液)	
引火点	知見なし	
見掛け比重	約 0.3 (20℃)	
溶解性	知見なし	
オクタノール／水分配係数	ピロキロン:	log Pow ＝ 1.6 (25℃)

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
反応性	通常の条件下では安定。
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口 LD_{50}(ラット)	1042 mg/kg(♀)	GHS 分類:区分 4
	経皮 LD_{50}(ラット)	>2000 mg/kg	GHS 分類:区分外
刺激性	皮膚刺激性(ウサギ)	刺激性なし	GHS 分類:区分外
	眼刺激性(ウサギ)	刺激性あり	GHS 分類:区分 2A
感作性	皮膚感作性(モルモット)	陰性	GHS 分類:区分外

生殖細胞変異原性	区分 2 である鉱油が約 35%含まれるため区分 2 とした。
発がん性	知見なし［分類できない］
生殖毒性	知見なし［分類できない］
特定標的臓器毒性(単回曝露)	区分 2(肺)である鉱油が約 35%含まれるため区分 2(肺)とした。
特定標的臓器毒性(反復曝露)	区分 1(肺)である鉱油が約 35%含まれるため区分 1(肺)とした。
吸引性呼吸器有害性	知見なし［分類できない］

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	オオミジンコ EC_{50}(48hr) 0.16 mg/L であることから区分 1 とした。		
水生環境慢性有害性	知見なし［分類できない］		
生体毒性:			
水産動植物への影響	コイ LC_{50}(96hr)	180 mg/L	GHS 分類:区分外
	オオミジンコ EC_{50}(48hr)	0.16 mg/L	GHS 分類:区分 1
	藻類 ErC_{50}(72hr)	500 mg/L	GHS 分類:区分外

13. 廃棄上の注意

注意事項	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。 使用済みの容器は、他の用途に使用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連分類	9
国連番号	3077
品名	環境有害性物質、固体、N.O.S.（ピロキロン混合物）
容器等級	III
海洋汚染物質	該当
国内規制	
陸上輸送	道路法等に定められた運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められた運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められた運送方法に従う。
輸送時の安全対策	運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光、風雨に直

	接暴露しない状態で輸送する。車両、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備えるほか、緊急時の処理に必要な消火器、工具等を備えておく。
緊急時応急措置指針番号	171(低、中程度の危険性物質)

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号　第 23172 号
PRTR法	該当しない
労働安全衛生法	第 57 条の 2　施行令第 18 条の 2　別表第 9　名称を通知すべき有害物質 鉱油(約 35%)　酸化アルミニウム(約 4%)　酸化カルシウム(約 2%) 酸化鉄(約 2%)　シリカ(約 16%)

16. その他の情報

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。
この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この製品安全データシートを活用されるようお願いします。

問合せ先

担当部門	電話番号
HSEグループ	03-6221-1047
サプライチェーン	03-6221-3805

中毒の緊急問合せ先　財団法人　日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999

「コラトップ」はシンジェンタ社の登録商標です。